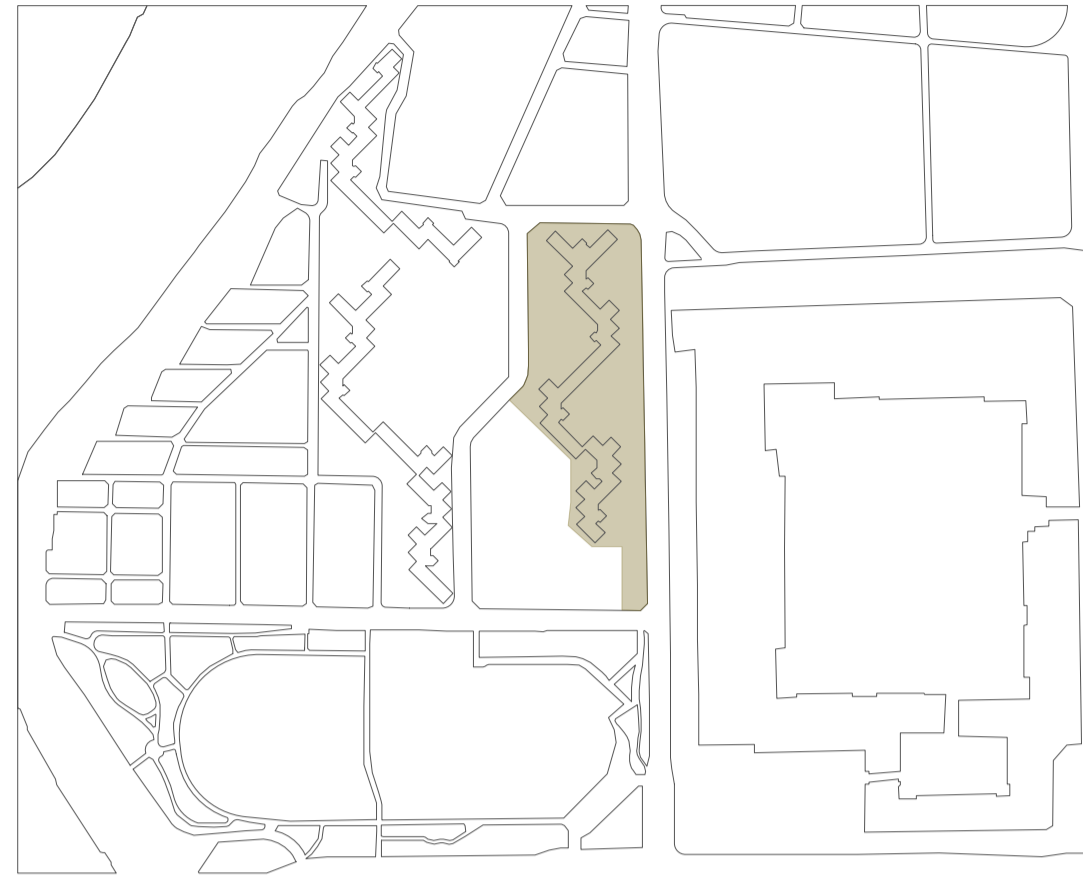
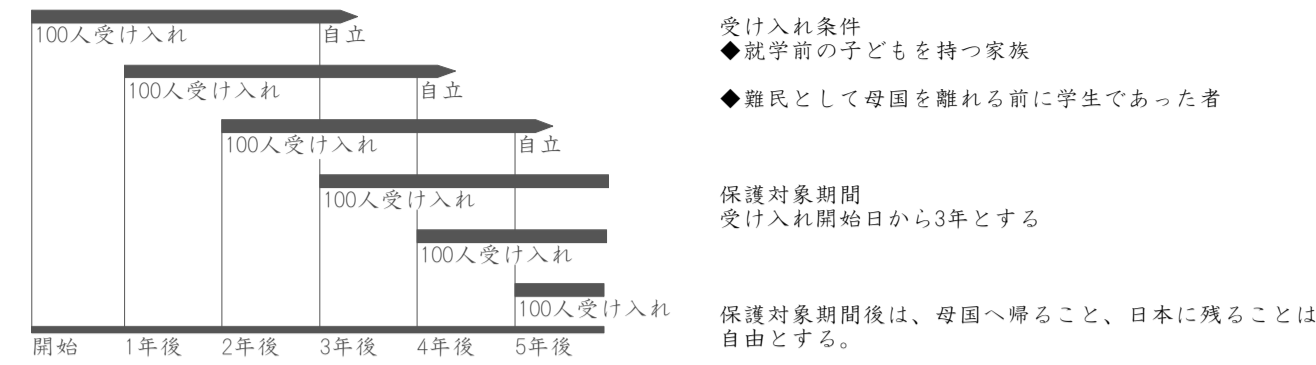


■敷地

基町住宅地区内に建つ基町高層アパート20号棟周辺を敷地とする。



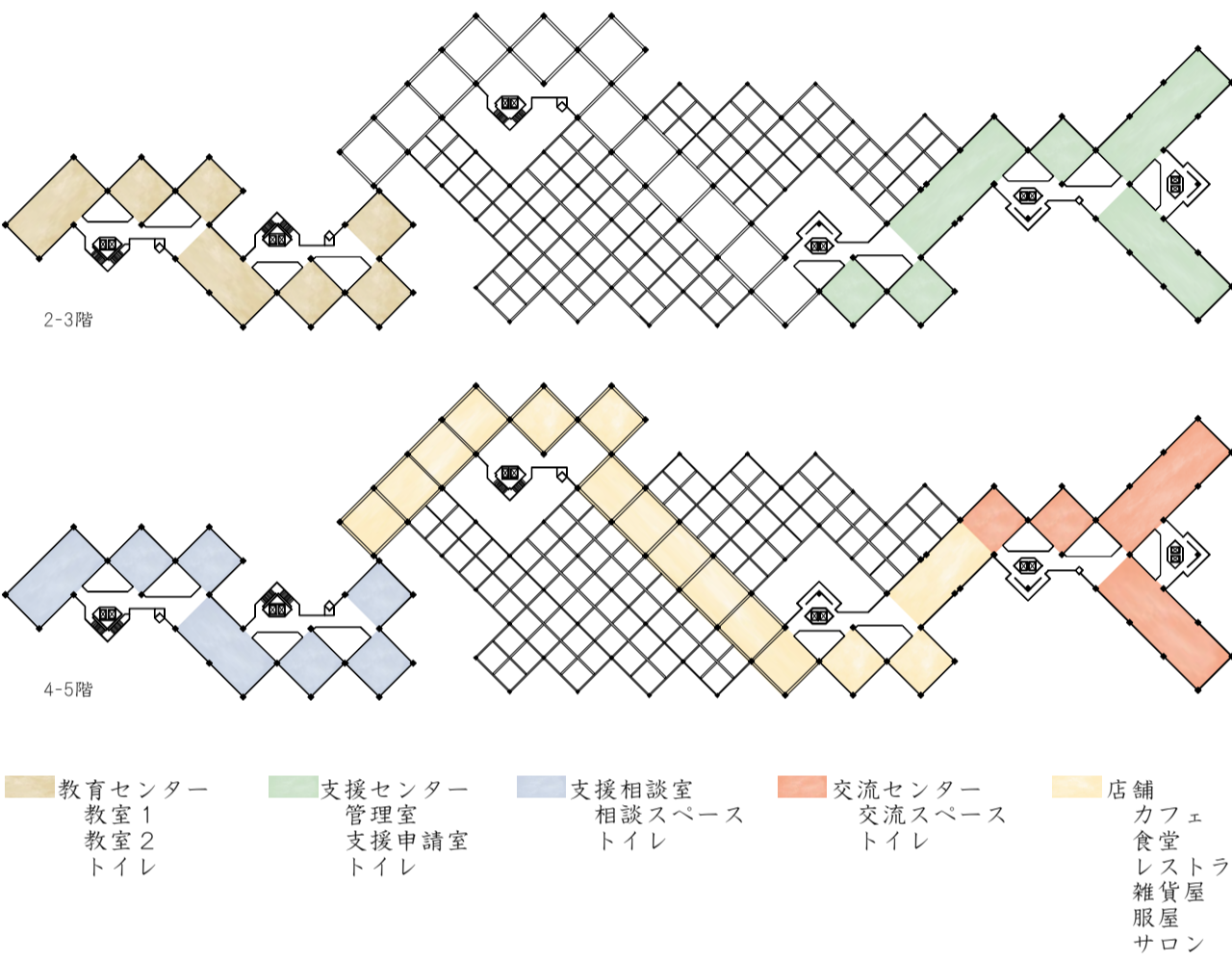
■基町住宅地区における難民受け入れ政策



■機能配置



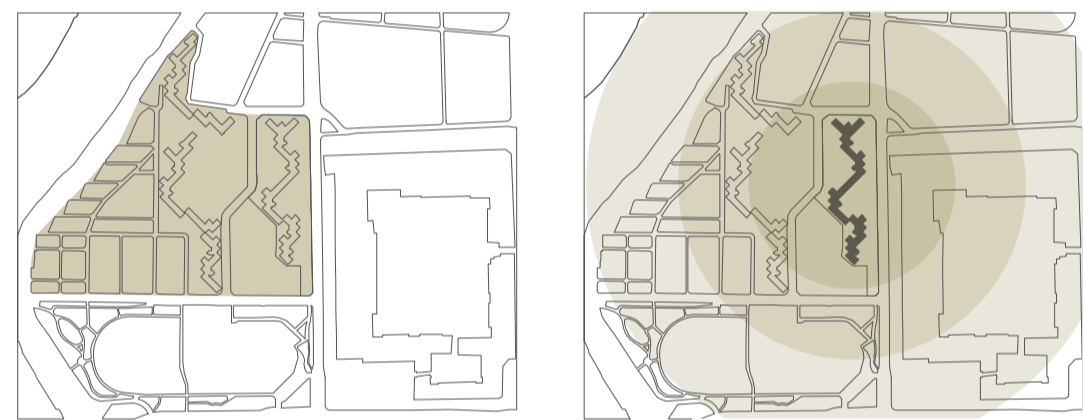
基町高層アパートのピロティー5階までに商業空間を取り入れ、都市に開いた空間とする。6階以上は難民が生活する住居空間となる。



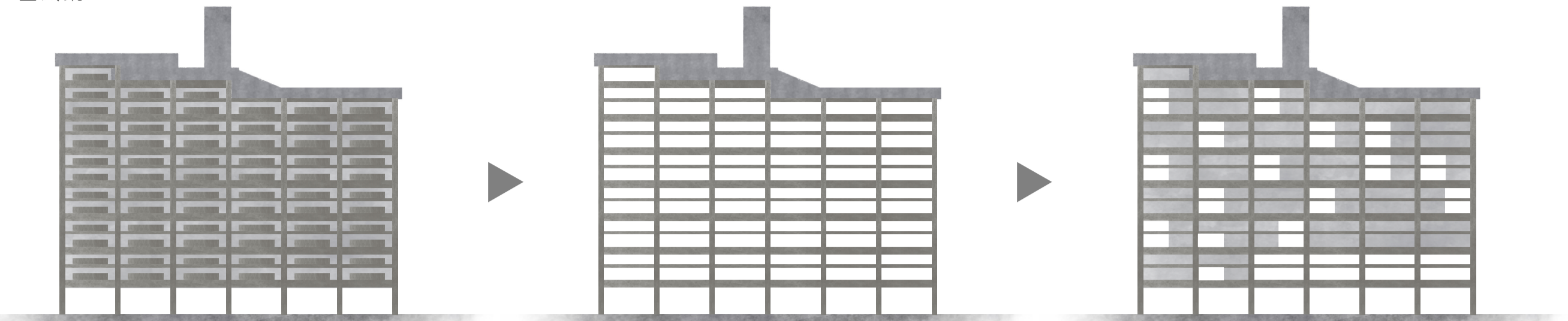
■提案

基町住宅地区は高層アパートが都市側に建っており、都市との壁を作り出している。今回の提案では、高層アパートの中でも最も都市側に近い20号棟を改修計画対象とする。現在基町住宅地区の持つネガティブなイメージを取り払い、当住宅地区の顔を変え、基町住宅地区が持つ本来のポテンシャルを引き出すとともに、当住宅地区が都市へ開いていくような提案である。

また、難民をこの場所に受け入れるということは、この場所が難民にとって新たな人生のスタートとなり、再出発地点となる。難民と基町とともに成長していくことを目的とする。



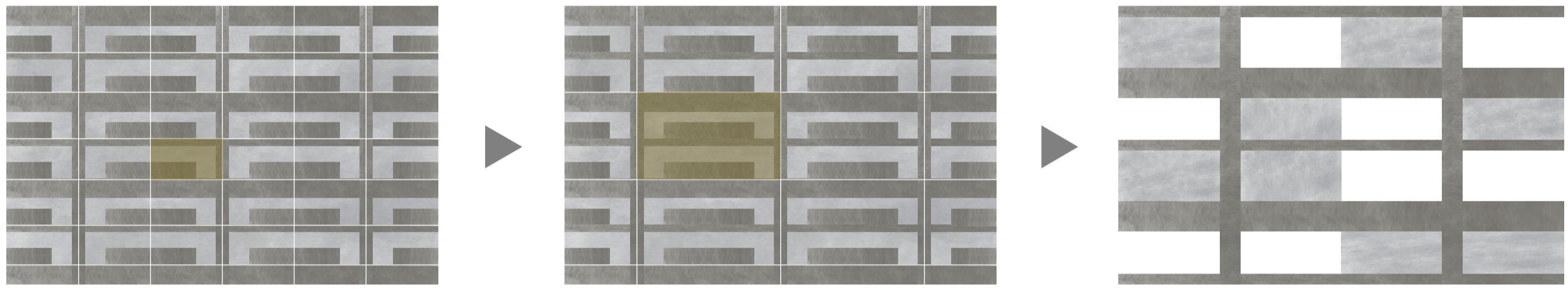
■減築



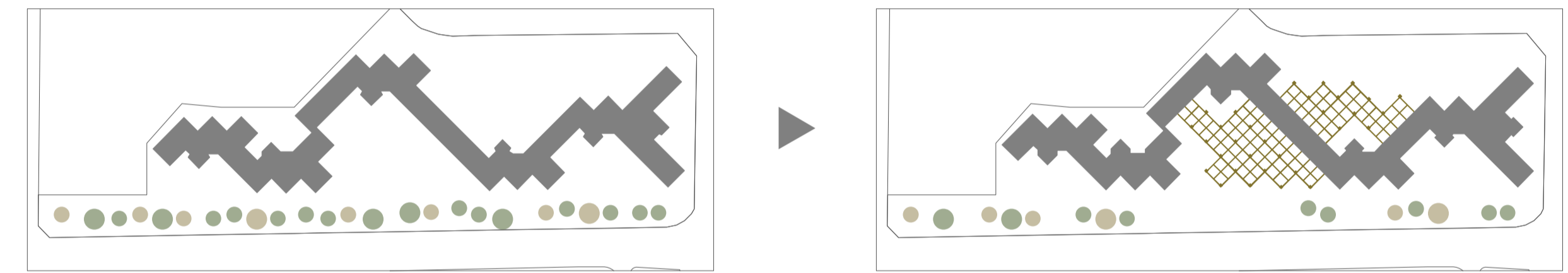
ファサードとして印象の強いバルコニーや20階までに及ぶ高さから、壁を感じる現在の基町高層アパート

スケルトン・インフィルという基町高層アパートの構造の特徴を利用し、躯体を残し、中を改修。

空間を残し、圧迫感のある近寄りたがい印象から、誰もが訪れるような新たな基町高層アパートを築いていく。



■増築



空いた空間はほとんど駐車場で交流する場は見られない。また、道路沿いの樹木を越えると高い壁が立ちはだかり圧迫感がある。

新たな空間として、躯体と同じ格子の空間をつくりだし、自然と建物内へ入っていくような場所を創出。

■難民

難民とは…人種、宗教、国籍、政治的意見やまたは特定の社会集団に属するなどの理由で、自国にいと迫害を受けるかあるいは迫害を受ける恐れがあるために他国に逃れた

世界における難民数…5950万人
 避難を余儀なくされた人…1日に4万5000人
 保護者のいない子ども…3万4300人
 18歳未満の子ども…51%

日本における難民認定申請者数…7586人
 日本における難民認定者数…27人

■基町住宅地区



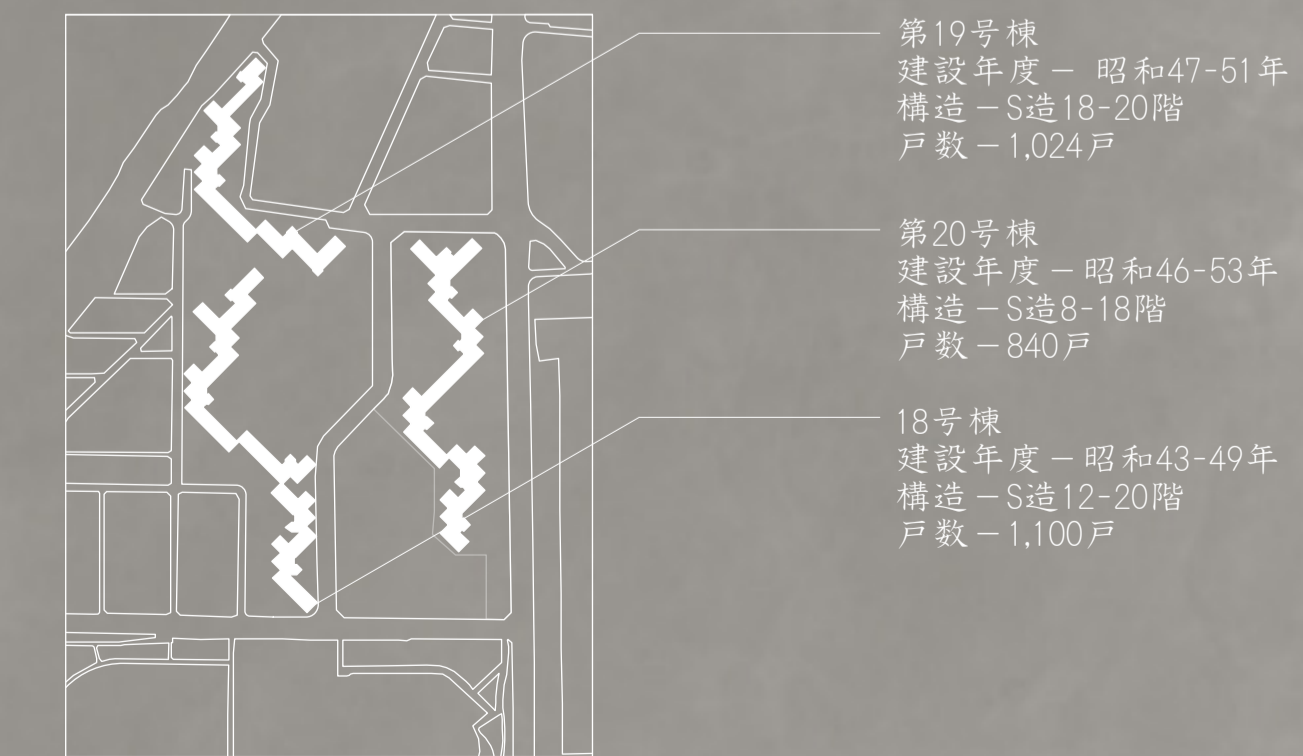
基町住宅地区は、広島市の都心部に位置しており、全域が市営住宅（公営住宅、改良住宅等）及び市営店舗で構成されている。現在は、建物の老朽化のみならず、少子高齢化に伴う地域コミュニティの活力低下や空き店舗の増加に伴う商店街の衰退など多くの問題が顕在化している。

■基町高層アパート

広島市管基町高層アパートは、隣接する広島県管長寿園アパートなどとともに、基町地区再開発事業で建設された合計約4,600戸からなる大高層住宅団地である。

この基町地区には、戦後復興期に建てられた公営応急住宅や、平和記念公園やその他の復興事業によって移転を余儀なくされた方々の民間住宅、そしてそれ以外にもやむを得ずこの地に居を構えた方々の家々が大量に集まり「不良住宅地区」を形成していた。

そこで、安全な改良住宅を建設し、これへの住替えを図り、それまでに住んでいた家々を除却して、公園などの新たな土地利用に転換していく「住宅地区改良事業」が、この再開発事業の一環として実施された。この事業は昭和44年から約10年かけて行われた。



基町高層アパートは住宅以外にも人工地盤、商店街、集会所、学校、消防署までを含む超大作であり、一つの都市というべきスケールです。

(1)全面ピロティー
 一般市民も通り抜けられる公共的空間。現在は主に駐車場として使われているが、自転車や歩きでも通行可能。



(2)“くの字型”の住棟配置
 ・可能な限りの日照時間の確保
 ・住棟間のプライバシーの確保
 ・高層となることによる構造的な不安定性の克服



(3)人工地盤
 基町住宅地区の中心に位置する人工地盤で、上は庭園で下は商店街となっており人工地盤からデッキを介して学校にも繋がっている。

(4)多様な事業施設・公共施設
 学校・幼稚園・保育所や商店・公衆浴場・診療所等が、団地の各所に組み込まれている。

(5)構造
 住棟は純鉄骨造で、溶接による柱・梁接合が導入されている。柱や梁の配置が工夫され、4戸分にあたる住戸の配置が自由に行われる可能性を持った構造形式となっており、今日でいう「スケルトン・インフィル（※）」構造のはしりともいえる仕組みが取り入れられている。

■スケルトン・インフィル

耐久性のあるスケルトン（柱や梁、床など）と柔軟に変更できるインフィル（内装や設備など）を分けて設計する考え方、建築方法。これにより耐久性のある構造体を保持しつつ、室内を作り変え、何世代にも渡って建物を使うことが可能になる。

